

会派 黎明 岩松 近俊 議員

1 市政運営について

- (1) 所信表明において、第3次総合計画の理念や方向性を踏まえつつ、「未来創造都市 かのや」の実現を目指し5つの基本方針を掲げ、市政運営に取り組むと述べられた。本市の現状認識を踏まえ喫緊の課題として、国の重点支援助地方交付金を活用した物価高騰対策の迅速な対応は非常に評価する。市長の掲げる5つの基本方針の中で、短期的及び中長期的施策をどのように実施していくのか考えを示されたい。

2 ふるさと納税について

- (1) 市長の公約に掲げる「産業振興で稼げるまち」について、ふるさと納税の取組強化が示された。本市においても重要な財源であることから、ふるさと納税の取組の現状をどのように認識しているのか。
また、ふるさと納税の増額、リスク分散に向けての取組を示されたい。

3 共生・協働について

- (1) 本市の住民基盤となる町内会や地域コミュニティ等の地縁団体を取り巻く環境は大きく変化している。今回平成22年に策定された「鹿屋市共生・協働で進めるまちづくり基本指針」を改訂する方針が示されたことから、町内会や地域コミュニティ等の現状や課題についてどのように認識しているのか。
また本市が目指す「地縁団体」の理念と今後の展望を示されたい。
- (2) 町内会等からの要望や苦情の状況と対応策の状況を示されたい。
- (3) 町内会の合併促進の現状と今後の課題について示されたい。
- (4) 公共交通空白地帯の解消に向け、AI オンデマンド交通や「MaaS」等の公共交通の新たな技術導入について、どのように推進するのか示されたい。

4 「命を守る」防災インフラの強靱化について

- (1) 上水道管の老朽化は、濁水や断水、健康被害、災害時の被害拡大など、市民への様々なリスクが懸念される。上水道管の耐震化を推進することは急務と考えるが今後の取組について示されたい。
また、将来の料金負担を含めた市民への説明責任をどう果たすか示されたい。
- (2) 激甚化する風水害に備え、避難所における通信環境（衛星通信等）の整備や、高齢者の「個別避難計画」の策定について、現状と今後の取組について示されたい。

5 教育行政について

(1) 鹿屋看護専門学校 ICT環境について

- ① 鹿屋看護専門学校にタブレット端末を導入することにより、学習効率の向上、実技理解の深化、国家試験対策の強化など、どのような教育効果を期待しているのか示されたい。
また、全国の看護学校で ICT教育が進む中、本市としてどのような危機感や必要性を認識しているのか示されたい。
- ② タブレット端末の購入費やデジタル教材費について、学生の経済的負担が懸念される。国の「高等教育の修学支援新制度」、「日本学生支援機構の奨学金」、「鹿児島県の看護職員修学資金」、さらには「鹿屋市独自の奨学金制度」など、既存の支援制度を活用することで、学生負担を軽減することが可能と考える。本市として、これらの制度活用や購入補助などにより、学生の負担を最小限に抑える支援策の検討はできないか示されたい。
- ③ タブレット授業を実施するためには、校内 Wi-Fi 環境やデジタル教材の整備・教員の ICT研修などの環境整備が不可欠である。現在の鹿屋看護専門学校 ICT環境の状況と課題を具体的に示されたい。
また、今後の整備計画について示されたい。
- ④ タブレット端末を活用することで、実習先の医療機関との情報共有やオンライン学習の活用など連携の幅が広がる可能性がある。本市として、地域医療機関との連携をどのように強化し、ICTを活用した実習支援を進めていくのか示されたい。